

若者・豊橋の願いを実現 宝の議席

再び県議会へ

日本共産党

「若者の声を県政に届けます。」2015年4月の県議選で、私はみなさんにこう約束をさせていただきました。そして、県議会に送っていただき、この間、若い仲間と一緒に取り組み、「ブラック企業許さない」「県独自の給付奨学金制度創設を」と質問・提案を行ってきました。その中で、働くルールのパンフレットの増刷や労働相談窓口を掲載したポスターをコンビニに貼ってほしいという提案が実り、実現しました。

豊橋の声も、県政に届けています。昨年の竜巻被害をきっかけに、豊橋市議団と連携しはじめて愛知県に、一世帯でも被害があれば救済できる「被災者生活再建支援制度」をつくらせることができました。他にも、「柳生川の河川の堤防をかさ上げしてほしい」「環境を改善し、アサリを守ってほしい」「次の世代に引き継げる農業政策・支援を行ってほしい」など地元の声を届けています。

みなさんに、県議会送っていただき、大型開発優先の県政を鋭く追及・告発し、チェック役を果たしています。そして、運動と結んで一歩一歩県政を動かし県民の願いを実現させています。若者や子育て世代の声、豊橋の声を届け、願い実現へ全力を尽くします。

愛知県議会議員

なほ

しもおく奈歩

「県民が主役」の県政へ3本柱の改革を

1. 子どもの貧困解消、若い世代が希望を持って学び、働き、暮らすことのできる愛知県へ

- 18歳までの入通院とも医療費無料化へ県として中学卒業までの医療費無料化
- 小中学校の給食費無料化へ県の助成制度の創設
- 最低賃金1,500円への引き上げを国に求めるとともに、県独自の助成制度で保育や介護労働者の賃上げ

3. 異常気象から県民のいのちと財産を守る県政へ

- 南海トラフ地震に備える防災、減災対策
- 災害時の人間らしく暮らせる避難所の整備
- “防災”という観点から大型公共事業の見直しを求める

2. 誰もが安心して暮らすことのできる医療・介護の基盤整備へ

- 75歳以上の医療費は入通院とも無料に
- 国保料の1人年1万円の値下げ・介護保険料と後期高齢者保険料の5千円の引き下げ
- 特別養護老人ホームを4年間で2万人増やす緊急増設計画の策定

こうすれば財源はできる！

全国第2位の豊かな財政を大企業優先から県民の暮らし優先に切り換えます

- 最大1件100億円の大企業優先の補助制度の見直し
- 設楽ダム(県支出1480億円)、カジノ誘致がらみの国際展示場(土地代含め700億円)など大型開発の中止
- 大企業の法人2税の超過課税の引き上げ

県民の願い
国政へ

窓口案内



参議院議員

井上さとし

〈国会事務所〉千代田区永田町2-1-1 衆議院議員会館321号室 〈愛知事務所〉名古屋市中区新栄3丁目12-25



若者雇用対策部長

すやま初美

日本共産党

みなさんの声と

共産党県議団

共同が大きな成果に

補正予算に盛り込ませた県民の願い

特別支援学校への エアコン設置前倒し実施

日本共産党県議団と本村伸子衆議院議員の連携プレーで実現した特別支援学校のエアコン設置。当初は100年かかる計画だったものを2021年夏までの3年で実施する計画に変更されました。日本共産党県議団は、今夏の猛暑を踏まえた緊急の申し入れを行い、2020年夏までに全教室へのエアコン設置のために4億7千万円が上乗せされました。



県教育委員会にエアコンの設置を申し入れをするしもおく県議(右から2人目)

記録的な猛暑のなかで、小中学校のエアコン設置の遅れが社会問題となりました。早急な対策を求める声が国民から上がるなか、政府は補正予算案で臨時特例交付金を新設。エアコンの設置されていない約17万の全国の普通教室すべてに整備できる規模となる817億円が盛り込まれました。

日本共産党提案の「災害対策の充実強化」 求める意見書 全会一致で採択

日本共産党愛知県議会議員団は、「災害対策の充実強化についての意見書(案)」を提案しました。そして、話し合いの結果、一部修正しましたが、全会派一致で採決されました。「最低賃金引き上げ」を求める意見書以来、二度目の全会派賛成です。

危険なコンクリートブロック塀の撤去

6月の大阪北部地震で小学校のブロック塀の倒壊事故をうけ、名古屋市は5日後に危険箇所の撤去・フェンス設置を開始しました。ところが、愛知県は危険箇所の発表から1ヶ月近くも放置されたままでした。日本共産党県議団が繰り返し県教委などに働きかけた結果、緊急点検結果にもとづく県有施設のコンクリートブロック塀の撤去及びフェンス等の設置で6億円が計上されました。



ブロック塀について申し入れを行うしもおく県議(左端)

県営住宅修繕・高齢化対策の改修

県営住宅が老朽化しているにもかかわらず、必要な修繕が行われず「ボロボロの県営住宅をなんとかしてほしい」という声が多数寄せられていました。党県議団は県営住宅の現地調査や懇談会、聞き取りなどを行い、繰り返し議会で改善を求めてきました。今回の補正予算では、高齢化対策改善費等として県営織部住宅などに4億1500万円が計上されました。



ドアの塗装がはがれている県営住宅▶

災害対策など

しもおく県議が一般質問

しもおく議員は、10月2日の本会議で、①災害対策 ②熱中症対策 ③性暴力被害者支援④看護修学資金の4つのテーマで質問しました。

災害対策の抜本強化を

危険なブロック塀の撤去、避難所のエアコン設置、被災者の生活再建、河川の改修など豪雨対策等について求めました。県は「河川改修に向けた必要な予算確保に努めていく」など答弁。しもおく県議は、「県民の命とくらしを守るため災害対策を行うのは県の役割」と強調し、対策強化を緊急に行うことを要望。

性暴力被害者支援の拡充を

性暴力被害者に対して中心的支援を行う「性暴力被害者ワンストップ支援センター」の周知徹底や東三河への設置を求めました。県は東三河の設置について、「地域の実情などふまえて研究していきたい」と答弁しました。しもおく県議は2次被害を生まないための対策を求めました。



本会議で一般質問するしもおく県議

エアコン設置など熱中症対策を

愛知の公立小中学校のエアコン設置率が42%(9/1時点)であることを明らかにしました。今年は命にかかわる深刻な猛暑が続いた。エアコン設置は命に関わる重大な課題。「県独自の財政支援を」と追及しました。

看護修学資金貸付の拡充・継続を

県は看護師をめざす学生への看護修学資金について新規の貸付を中止するとしています。「看護師人材確保のために、制度を廃止するのではなく、内容を拡充して継続すべきではないか」と求めました。

日本共産党県議会報告

ご意見・ご要望をお寄せください。

2018年11月発行

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2

TEL:052(954)6716 FAX:052(961)5420 <http://jcp-aichi-kengi.jp/>

発行:日本共産党愛知県議会議員団